

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金支払株主確定日	利益配当金 3月31日 中間利益配当金 9月30日
決算公告掲載	当社ホームページ
名義書換代理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
(連絡先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 Tel.03-5391-1900
同取次所 (お知らせ)	三菱信託銀行株式会社 全国各支店 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取および買増請求に必要な用紙、 および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で 24時間承っておりますのでご利用下さい。
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の買取り	上記名義書換代理人の事務取扱場所および同取次所でお取り扱いいたします。
本誌掲載記事に 関するお問い合わせ	株式会社クイック 社長室 Tel.06-6375-0061 Fax.06-6371-7429 E-mail info-kabu@919.jp

IR情報メール配信サービスのご登録は
<https://www.dirnet.jp/4318>

クイックグループの情報サイト

クイック	http://919.jp
クイック人材紹介部	http://ten-navi.com
クイック「採用の方法論」	http://919.jp/jingoto/
クイック中国室	http://919.jp/cn
(株)アイ・キューア	http://www.iqliq.co.jp
(株)ケー・シー・シー	http://www.weblife365.com
(株)キャリアシステム	http://www.e-shigoto.co.jp
(株)ITアソシエイツ	http://www.itss-japan.com
QUICK USA, INC.	http://www.919usa.com
上海クイックマイツ	http://www.919myts.com.cn/



HUMAN RESOURCES SOLUTION

人材をテーマに、人・社会・未来に貢献するクイック

株式会社クイックグループ 2004年度 事業報告書

2004年4月1日～2005年3月31日



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。当グループには平素より暖かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第25期事業年度(2004年4月1日から2005年3月31日まで)の事業報告書をお届けさせていただきます。

昨年度におけるクイックグループは、成長事業への投資、成熟事業の効率化といった両面を追求するとともに、グループ全体への第三次基幹システム導入、内部管理体制の強化など、グループとしての総合力強化に努めてまいりました。おかげさまをもちまして、各企業における人材採用の旺盛な需要の中、過去最高の売上高、経常利益を上げることができ、期中に上方修正した修正予算を達成することができました。

当グループは2004年度より、「成長のための第二創業期」に向けての中期計画をスタートいたしました。その2年目である2005年度の日本経済は、人材ビジネスマーケットの回復感が強い中、原油価格の高騰や為替、鉄鋼不足といった懸念材料も聞こえ、まだ予断を許さないといった状況です。このような状況の下、当グループは各事業と内部管理体制の大幅な強化、深化を図り、第二創業期の完成に向けてより進化してまいります。



代表取締役社長
兼グループCEO 和納 勉

2005年度は連結で売上高105億円(対前年比10%増)、経常利益6億3000万円(同15%増)の目標を掲げ、さらなる収益性の向上を目指します。2007年問題を目前に控え、深刻な労働力不足が懸念される中、高齢者や女性の積極活用に加えて、海外からの労働力活用にも大いに注目し、企業の労働力確保と雇用の創出に努めるとともに、“世界の人事部”としての足がかりを築いてまいります。

株主の皆様におかれましては今後ともクイックグループの挑戦にご期待いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2005年6月

リクルーティング広告事業 …(株)クイック リクルーティング営業本部

雇用環境の回復とリテールマーケットの開拓による新規顧客へのアプローチ成功

東京では銀座営業所の開設、大阪では吹田、堺営業所の開設など、アルバイト・パートおよび特定地域に特化した低価格媒体を中心としたリテールマーケットの開拓に積極的に取り組んでまいりました。その結果、新規顧客に対するアプローチが成功し、取引社数の大幅拡大へと繋がりました。景気回復の後押しを得て、新卒採用を中心に採用広告媒体誌やインターネットでの採用ニーズが旺盛になってきましたことも、業績好調の大きな要因となりました。その結果、売上高:5,157百万円(前年同期比19.9%増)、営業利益:846百万円(同23.8%増)となりました。

人材サービス事業 …(株)クイック 人材紹介営業本部、(株)キャリアシステム、(株)ITアソシエイツ、QUICK USA,INC.、上海クイックマイツ有限公司

地域密着型の派遣ニーズが旺盛、営業利益は3桁台成長

人材紹介事業におきましては、引き続きキャリアコンサルタントの強化、転職希望者の情報インフラ整備等に努めてまいりました。これにより成約件数は前年を上回る件数となり、1件あたりの成約単価も上昇いたしました。アウトソーシング事業におきましては、名古屋地区におけるコンピュータ関連、保守メンテナンス、修理のカスタマサポート業務の派遣売上高が拡大しました。また、金沢地区での製造部門技能工、メディカル部門介護派遣等のニーズも旺盛でした。新営業所開設(富山、三河、横浜)の費用を計上したものの、業績は格段に伸長しました。一方海外(米国・中国)も順調に業績を伸ばしました。その結果、売上高:2,003百万円(前年同期比50.8%増)、営業利益:58百万円(同347.8%増)となりました。

情報出版事業 …(株)ケー・シー・シー

クライアント評価向上とCM戦略の成功

前期に続き「金沢情報」「富山情報」「福井情報」「新潟情報」の無料宅配生活情報誌の配布エリアを拡大し、高岡営業所の開設や設置型無料配布地域も拡大するなど読者数増加・認知度向上に努めた結果、広告掲載収入が堅調に推移いたしました。特に「富山情報」のクライアント評価が高く、業績に大きく貢献いたしました。また「結婚賛歌」「新潟結婚賛歌」等の季刊誌につきましては、定期的なテレビコマーシャル展開と堅実な営業手法により、順調に売上を獲得いたしました。その結果、売上高:1,844百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益:110百万円となりました(同98.0%増)。

IT関連事業 …(株)アイ・キュー

新サイトへの広告宣伝増加により、営業利益減

IT関連事業におきましては、主力の「人材バンクネット」が好調に推移したほか各種インターネット広告等の取扱いが増加いたしました。新たに立ち上げた「日本的人事部」サイトへの広告宣伝など先行投資を優先した結果、売上高:503百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益:24百万円にとどまりました(同28.5%減)。

～クリックグループの中長期経営計画について～

昨年度は過去最高の収益、
中長期的にはグローカル企業として世界へと大きくはばたきます。

※グローカル:グローバル(global)とローカル(local)からの造語。国境を越えた地球規模の視野と草の根の地域の視点でさまざまな問題を捉えていこうとする考え方。

Q まずははじめに、昨年度の総括をお願いします。

昨年の人材ビジネスマーケットは、景気回復の後押しを得て、求人動向が全体を通じて好調でした。特にリクルーティング広告事業では、当初の計画を大幅に上回る業績となり、期中で上方修正の予算を策定しました。その結果、クリックグループの連結売上高は95億円(対修正予算:104%)、経常利益5億4600万円(対修正予算:105%)となり、過去最高の業績を達成いたしました。各事業での順調な推移により、中長期戦略の好調な足がかりを築くことができました。

Q 中長期戦略とはどのようなものですか。

2010年までを目途に、グローカル企業として(日本でのローカル展開と世界へのグローバル展開)大きくはばたき、日本の人事部から世界の人事部としての役割を担ってゆくということを長期ビジョンとして掲げています。当グループの事業理念は、“人材・情報を通じて社会に貢献する”ということです。海外へもその裾野を一層と広げていきたいと考えています。

その実現に向け2005年度から2007年度にかけては、以下の目標に向けて取り組んでまいります。

《中期計画(2005年度～2007年度)》

- 長期ビジョンの実現に向けた事業の構築と内部管理体制の強化(第二創業期の完成)
- 収益性の向上(連結売上高経常利益率を現5.7%→10%へ)



Q それでは今年度の事業方針と業績計画についてお聞かせください。

景気の足踏みが見られるものの、大手や中堅の企業では、採用に対する積極的な姿勢が顕著に現れています。人材活用の多様化などにより、雇用環境は引き続き明るい状況が続くのではないかと思われます。また、中期的には“2007年問題”が控えています。経営の中核を担ってきた団塊の世代が一斉に定年退職を迎える一方で、若年者労働人口は減少傾向にあり、大幅な労働力不足が生じます。今後は各企業間で、人材の採用競争が激化することが予想されます。このような状況の中、クリックグループは今年度を中期計画の達成に繋げていくため、“人材ビジネス事業(人材紹介部門とアウトソーシング部門)への積極的投資と内部管理体制の強化”年にしたいと考えています。

2005年度の連結売上高は前年比10%増の105億円、経常利益は前年比15%増の6億3000万円と、大幅な増加を見込んでいます。さらに2006年度には売上高120億円、2007年度には140億円を目指します。

Q 各事業別の計画についてお聞かせください。

リクルーティング広告事業からお話ししましょう。採用がますます困難な時代に入りつつある中、ネットの出現は媒体の多様化とコストダウンとともに採用のあり方そのものに大きな変化をもたらしてきました。今後重要なのは、採用の成功のためのソリューション(課題解決型)営業と地域密着型のリテール営業展開です。関東や関西地区でのリテール営業所展開はこのような動きの中で行ってまいりました。今後もソリューション営業の強化と、リテール営業所展開の両軸で成功を推し進めています。

人材紹介事業では一昨年より強化を図っていたウェブ広告や登録システムが完成し、事業インフラが整ってまいりました。今後はキャリアコンサルタントの人材強化と登録者開拓が課題となります。5年後に日本でベスト3の人材紹介事業所となることを目指し、確固たる地位を確保してまいります。

株キャリアシステムにおきましては、エンジニア、建築技術者、工場部門の技能者、パソコンのセットアップ技術者の派遣など付加価値の高いニッチな派遣を中心とした地方展開に引き続き挑戦してまいります。

IT関連事業では、従来から収益性の高い株アイ・キューノ「人材バンクネット」に加え、昨年新たに立ち上げました「日本的人事部」サイトが着実に浸透しつつあります。今期は従来事業の強化を図るとともに、人材ビジネス支援や人材系事業のコンテンツ開発にシフトし、更なる拡大を図ってまいります。株ITアソシエイツのITSSコンサルティング事業は昨年立ち

上げた新規事業ですが、2005年度は環境も整い、収益貢献できる見込みです。

(株)ケー・シー・シーでは情報誌とネットの融合など、フリーペーパー事業の更に進化したビジネスモデルを追及します。また北陸で新媒体を発行し、日本の地方主要都市に最強のビジネスモデルを展開してまいります。

海外の状況ですが、QUICK USAは今年初めて日本と連携し、「Quick Job Fair 2005 in New York(2005年5月28～29日)」を開催いたしました。引き続き日本との連携を深め、新企画を立ち上げてまいります。上海クリックマイツでは、最近の中国と日本の関係を配慮し、慎重に業績の黒字化を図ります。日本国内の中国室を更に強化し、日本と中国の国際免許を取得する中で、日中の人材紹介を深めてまいります。

最後になりましたが管理部門の強化が2005年度の最優先課題です。ステップアップを目指すには今まで以上の内部牽制、高度な情報管理体制、経理財務処理が必要となります。大幅に社内の体制も変更し、新基幹システムも稼動いたしましたので、今後有効な管理体制を築いてまいります。またコンプライアンスの一環としてプライバシーマークの取得も急務であると考え、取得に向けて既にスタートいたしております。

Q 最後に株主の皆様にメッセージをお願いいたします。

当社は平成17年8月19日に、株式を1:2に分割いたします。これにより一層市場での流動性を高めるとともに、株主数の増加を図ってまいります。また、株主様に対する利益還元についても重要な経営課題と位置づけ、連結当期純利益の30%以上配当に努めています。ホームページやメール配信などを活用し、より早く当社の情報を株主様にお届けできるよう、IRも強化してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2005年1月～2005年3月
クイック グループ NEWS

TOPICS

中国 大連で合弁会社スタート 泰克現代教育(大連)有限公司



泰克现代教育(大連)有限公司
住所: 大連市高新技术園區軟件園路1号



日本語の授業風景

(株)キャリアシステム横浜営業所開設



クイックグループとしてのキャリアシステム3箇所
目の営業所展開として、横浜営業所の開所式が3
月28日に行われました。

(株)キャリアシステム横浜営業所
住所: 横浜市中区住吉町4-45-1

特定非営利活動法人「関西を元氣にする会」 設立総会披露パーティー

社長の和納が会長を務める「関西を元氣にする会」が、NPO法人(特定非営利活動法人)の認可を受け、1月26日に設立総会が開かれました。同会は活力ある関西経済を取り戻すためにはベンチャーと若手経営者の育成が必要であると、和納やワタバウエディングの渡部社長らが発起人となって平成12年7月に設立



されたものです。上場を志す企業に対して、上場のための準備や実務などのソフト面での支援を行ってきました。会員向けのファンダ組成などにより会員企業から10社の上場企業が誕生しています。現在の会員社数は98社。

また、上場後も経営の高度化や事業拡大を目指す企業を対象に会員上場企業22社で「上場企業部会」をスタートさせる他、今後は起業を目指す個人に対しても支援を行っていく予定です。

NPO法人設立によって和納は理事長に就任、「関西はかつてベンチャーが大いに育った土地柄。若手起業家を育てて関西の活性化に役立ちたい」と話されました。

リクルーティング広告事業カスタマサポート部門 吹田・堺に営業所開設

リクルーティング広告事業のカスタマサポート部門が1月25日に吹田営業所、26日に堺営業所を開設しました。4月にはカスタマサポート部門全体を会社分割により分社化し、茨木にも営業所を開設しました。今後アルバイト・パートを中心とした求人情報や地域密着型の情報誌を中心に取り扱い、リテールマーケット市場における競争力を更に高めてまいります。



吹田営業所
住所: 吹田市江坂町1-23-38

所を開設しました。今後アルバイト・パートを中心とした求人情報や地域密着型の情報誌を中心に取り扱い、リテールマーケット市場における競争力を更に高めてまいります。



堺営業所
住所: 堺市南花田口町2-3-20

(株)ケー・シー・シー 高岡営業所開設



3月22日に(株)ケー・シー・シー富山支店高岡営業所の開所式が行われました。富山県で人口が2番目に多い高岡市に配布展開することで、地場の新しい読者やクライアントを開拓していきます。

(株)ケー・シー・シー 高岡営業所
住所: 高岡市京田640

新サービス開始

海外留学生のための会社説明会を
ニューヨークでQUICK USA, INC.と合同開催



トできる企画を増やす、グループとしての相乗効果を高めてまいります。

新サービス開始

人材紹介ポータルサイト「人材バンクネット」が ライブドアキャリアと業務提携



ができるもの)の2つのコンテンツを提供しています。このコンテンツ提供により、「人材紹介」が正しく認識されるとともに、「人材バンクネット」の登録者拡大につながるものと期待しています。

<http://career.livedoor.com/>

新サービス開始

業界初ITSS専門サイト 「ITSS最大活用web」開設

(株)ITソシエイツは3月23日よりIT組織に対してITスキル標準の導入を支援するためのITSS専門サイト「ITSS最大活用web」を業界で初めて開設しました。

ITスキル標準(ITSS)は2002年に経済産業省が策定した各種IT関連サービスの提供に必要とされる能力を明確化、体系化した指標ですが、現状ではITSSに関する知識を正しくわかりやすく得られる情報源

がなく、企業のITSS導入の妨げになっていました。同社ではできるだけ簡単な表現を使い、ITSSの理解を深めてもらうための情報源としてこの専門サイトを開設することにいたしました。サイト開設により、業務拡大を図ってまいります。

※(株)クイックは3月1日付でITSS導入支援事業を(株)ITソシエイツに移管しています。



<http://www.itss-japan.com>

■決算概要(連結)

貸借対照表

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,765	2,619
現金及び預金	1,156	1,131
受取手形及び売掛金	1,174	1,116
有価証券	227	191
繰延税金資産	85	85
その他	127	102
貸倒引当金	△ 6	△ 9
固定資産	1,374	1,373
有形固定資産①	778	726
建物及び構築物①	461	418
土地	285	285
その他	31	22
無形固定資産	139	172
投資その他の資産	456	473
投資有価証券⑤	94	110
繰延税金資産	125	119
その他	268	276
貸倒引当金	△ 32	△ 33
資産合計	4,140	3,992

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	1,869	1,820
支払手形及び買掛金③	859	909
短期借入金	75	103
1年以内返済予定長期借入金	139	153
未払法人税等	161	175
賞与引当金	148	134
その他	485	344
固定負債	448	516
長期借入金	265	343
退職給付引当金	57	47
役員退職慰労引当金	124	122
その他	2	2
負債合計	2,318	2,336
(少数株主持分)	4	4
(資本の部)		
資本金②	337	328
資本剰余金	258	248
利益剰余金	1,235	1,083
その他	△ 13	△ 10
資本合計	1,817	1,650
負債・少数株主持分及び資本合計	4,140	3,992

損益計算書

科目	当期 (平成16年4月1日~ 平成17年3月31日)	前期 (平成15年4月1日~ 平成16年3月31日)
売上高	9,509	7,676
売上原価	5,827	4,704
売上総利益	3,681	2,971
販売費及び一般管理費	3,156	2,585
営業利益	524	386
営業外収益	37	44
営業外費用⑥	16	21
経常利益	546	408
特別利益	0	5
特別損失	17	4
税金等調整前当期純利益	529	409
法人税、住民税及び事業税	266	203
法人税等調整額	△ 6	0
少数株主損失	0	6
当期純利益	270	212

キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (平成16年4月1日~ 平成17年3月31日)	前期 (平成15年4月1日~ 平成16年3月31日)
税金等調整前当期純利益	529	409
その他	103	44
小計	632	454
法人税等の支払額	△ 271	△ 73
その他	△ 7	△ 9
営業活動によるキャッシュ・フロー	353	371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 211	△ 207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 2
現金及び現金同等物の増加額	65	127
現金及び現金同等物の期首残高	1,203	1,059
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	16
現金及び現金同等物の期末残高	1,269	1,203

※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

■決算概要(個別)

貸借対照表

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	1,879	1,781
現金及び預金	699	675
受取手形及び売掛金	719	731
有価証券	227	191
繰延税金資産	55	50
その他	177	131
固定資産	1,302	1,277
有形固定資産	297	245
建物及び構築物①	146	98
土地	134	134
その他	16	12
無形固定資産	14	17
投資その他の資産	990	1,015
投資有価証券⑤	94	110
関係会社株式④	616	606
繰延税金資産	85	87
その他	221	238
貸倒引当金	△ 28	△ 29
資産合計	3,182	3,058

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	1,225	1,205
買掛金	732	701
短期借入金	55	103
1年以内返済予定長期借入金	69	77
未払法人税等	74	109
賞与引当金	106	90
その他	188	122
固定負債	251	263
長期借入金	123	133
退職給付引当金	7	9
役員退職慰労引当金	120	120
負債合計	1,477	1,468
(資本の部)		
資本金②	337	328
資本剰余金	258	248
利益剰余金	1,115	1,018
その他有価証券評価差額金	2	2
自己株式	△ 9	△ 8
資本合計	1,705	1,590
負債及び資本合計	3,182	3,058

利益処分計算書

科目	(株主総会承認日 平成17年6月24日)	(株主総会承認日 平成16年6月25日)
当期末処分利益	229	162
利益配当金	47	70
(1株につき)	5円(普通配当)	15円(普通配当)
役員賞与	13	10
別途積立金	100	30
次期繰越利益	68	51

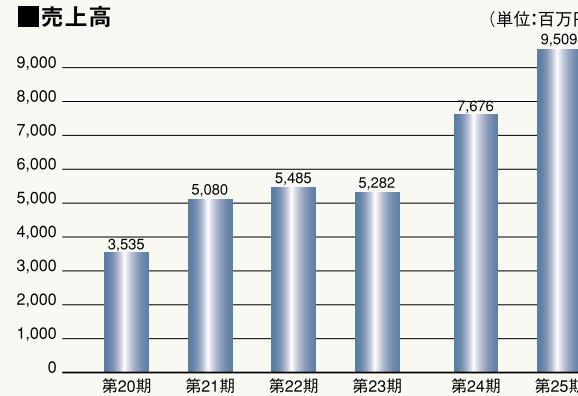
※平成16年11月19日(効力発生日)に1:2の株式分割を実施しています。
※平成16年12月10日に1株につき8円の中間配当を実施いたしました。

POINT解説

- ① 建物及び構築物…主な増加は東京オフィスの移転によるものです。
- ② 資本金/資本剰余金…新株予約権の行使による増加です。
- ③ 支払手形及び買掛金…一部子会社は支払手形を廃止しました。
- ④ 関係会社株式…(株)ITソシエイツに対し増資を実施しました。
- ⑤ 投資有価証券…泰克現代教育(大連)有限公司に出資を行いました。
- ⑥ 営業外費用(新株発行費)…株式分割による費用4百万円が含まれております。

■決算概要(連結)

業績推移



(注) 平成13年7月24日付をもって500円額面株式1株を、50円額面株式14株に分割しております。
平成16年11月19日付(効力発生日)をもって1:2の株式分割を実施しております。

■ 株式の状況(平成17年3月31日現在)

■発行済株式の総数 9,538,888株
■株主数 509名

■大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
和納 勉	2,410,576	25.2%
(有)アトムプランニング	684,208	7.1%
クイック従業員持株会	619,556	6.5%
中島 宣明	572,652	6.0%
ペアリングガンジーリミテッド	406,000	4.2%
倉地 国明	282,500	2.9%
バンクオブパリューダガンジーリミテッドアランティスジャパングロースファンド	219,000	2.3%
(株)東京三菱銀行	189,000	1.9%
大善 彰総	181,000	1.9%
大善 磨世子	170,000	1.7%

■所有者別株式分布

金融機関	7名	552,000株
外国法人等	8名	790,000株
一般法人	27名	1,158,768株
個人・その他	467名	7,038,120株

■ 会社データ(平成17年3月31日現在)

商号	株式会社クイック
英文社名	QUICK CO.,LTD.
設立	昭和55年9月
事業内容	総合人材サービス業
資本金	337,977千円
従業員数	436名(臨時雇用者108名を含む)
所在地	〒530-0071 大阪市北区中津1-11-1 中津センタービル
事業所	TEL 06-6375-0061
取引先	FAX 06-6371-7429
連結子会社	大阪、東京、名古屋、横浜、品川、銀座、吹田、堺
役員の状況	株式会社アイ・キュー 株式会社ケー・シー・シー 株式会社キャリアシステム 株式会社ITアソシエイツ QUICK USA,INC. 上海クイックマイツ有限公司 代表取締役社長 和納 勉 専務取締役 中島 宣明 取締役 藤原 功一 取締役 池田 友之 監査役(常勤) 大森 清作 監査役 菅原 茂比古

■ 株価・出来高の推移(※株価は株式分割後調整値)

